



2022年3月期 決算説明

日精樹脂工業株式会社
2022年5月31日

2022年3月期 業績の概要

2022年3月期 連結経営成績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 純利益
2022年3月期	48,731 (17.1%)	2,577 (125.1%)	2,940 (174.6%)	2,680 (347.6%)	137.43円
2021年3月期	41,604 (7.2%)	1,145 (4.1%)	1,070 (△5.3%)	598 (△7.1%)	30.71円

売上

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響より低調だった需要が回復基調で推移したこと等から、売上高は前期比17.1%増の487億3千1百万円と過去最高の売上高となりました。

利益

- ・ 主力である射出成形機の需要が自動車関連を中心に回復したこと等から営業利益は25億7千7百万円(前期比125.1%増)となりました。
- ・ この結果、経常利益は29億4千万円(前期比174.6%増)、四半期純利益は26億8千万円(同347.6%増)となりました。

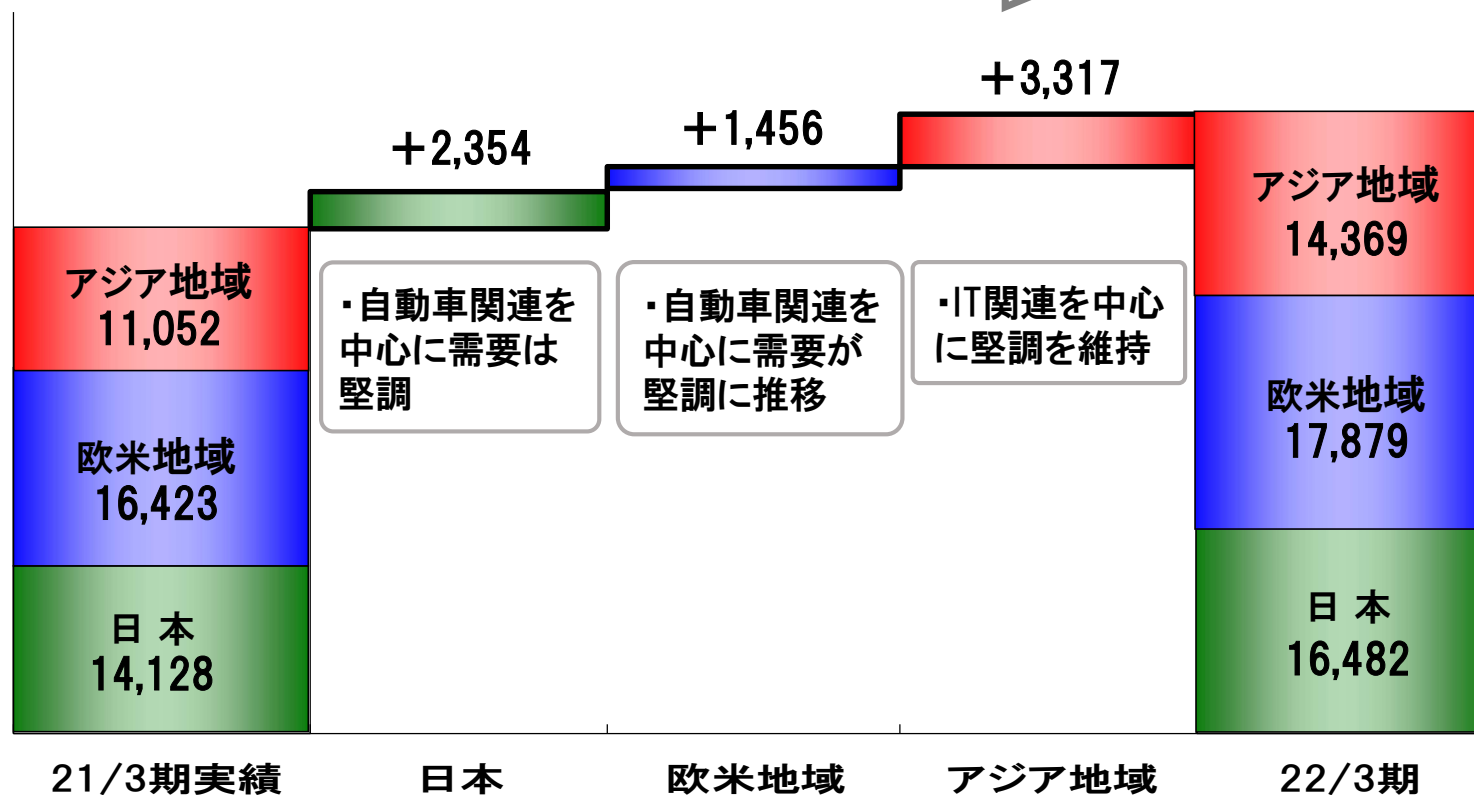
連結業績概要【前期比】

単位：百万円、比率%

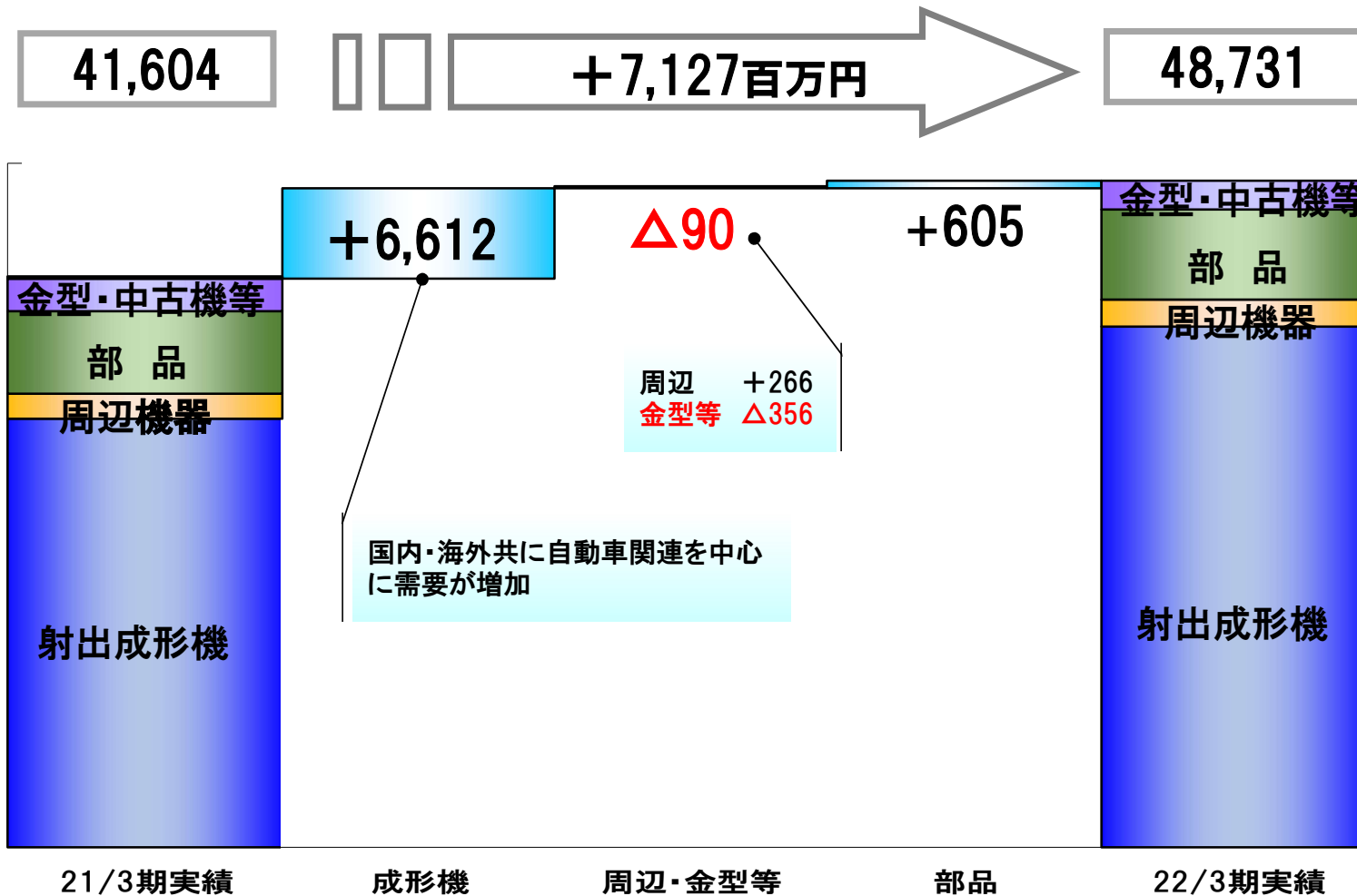
	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	対前期比	
			差異	率
射出成形機	31,377	37,989	6,612	21.1
周辺機器	1,774	2,040	266	15.0
部品	6,035	6,640	605	10.0
金型等	2,417	2,061	△356	△14.7
売上高合計	41,604	48,731	7,127	17.1
売上総利益	12,219	14,400	2,181	17.8
一般管理販売費	11,073	11,822	748	6.8
営業利益	1,145	2,577	1,432	125.1
経常利益	1,070	2,940	1,869	174.6
親会社株主に帰属 する当期純利益	598	2,680	2,081	347.6

連結売上高(セグメント別)増減 [2021年3月期⇒2022年3月期]

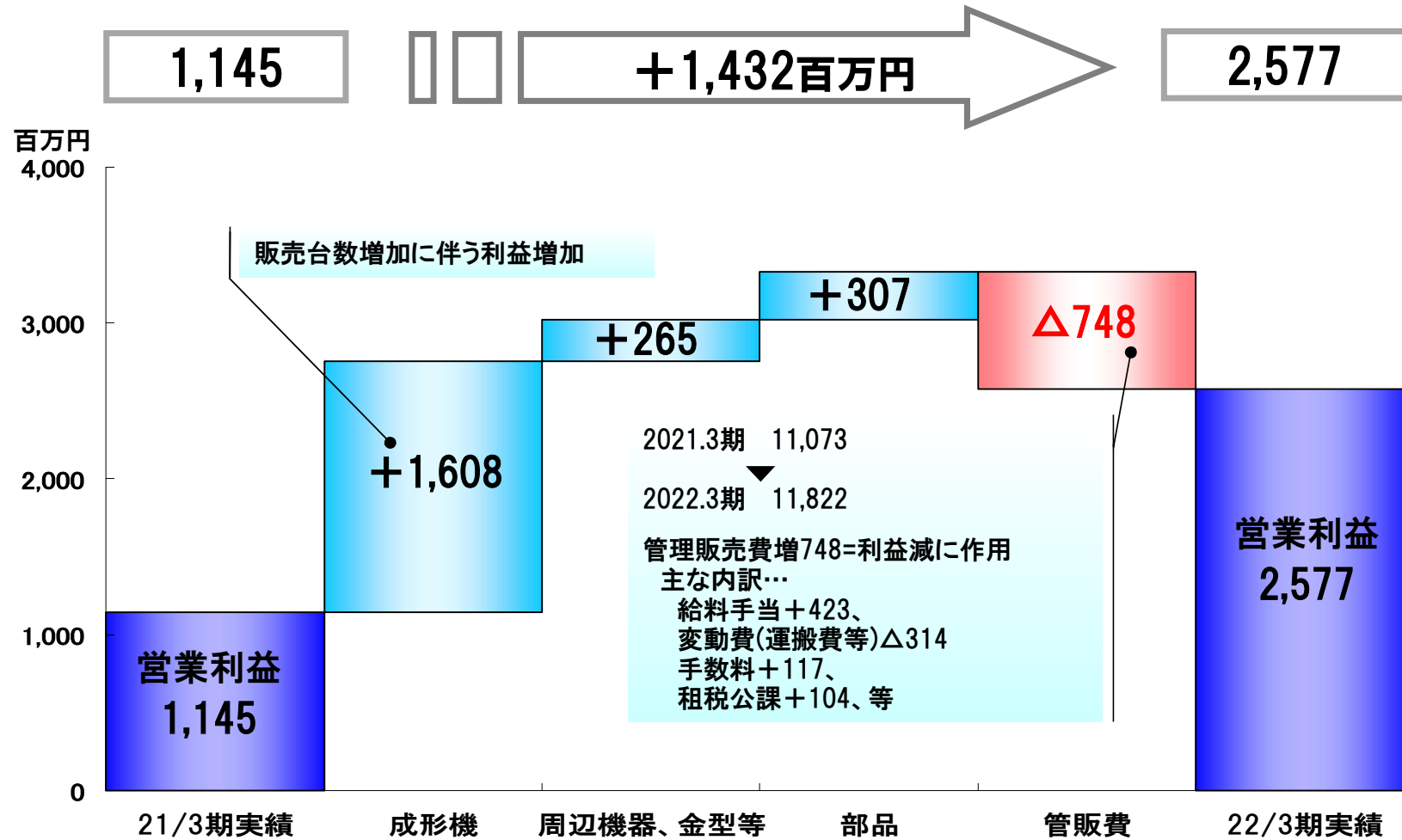
外部顧客への売上高の増減



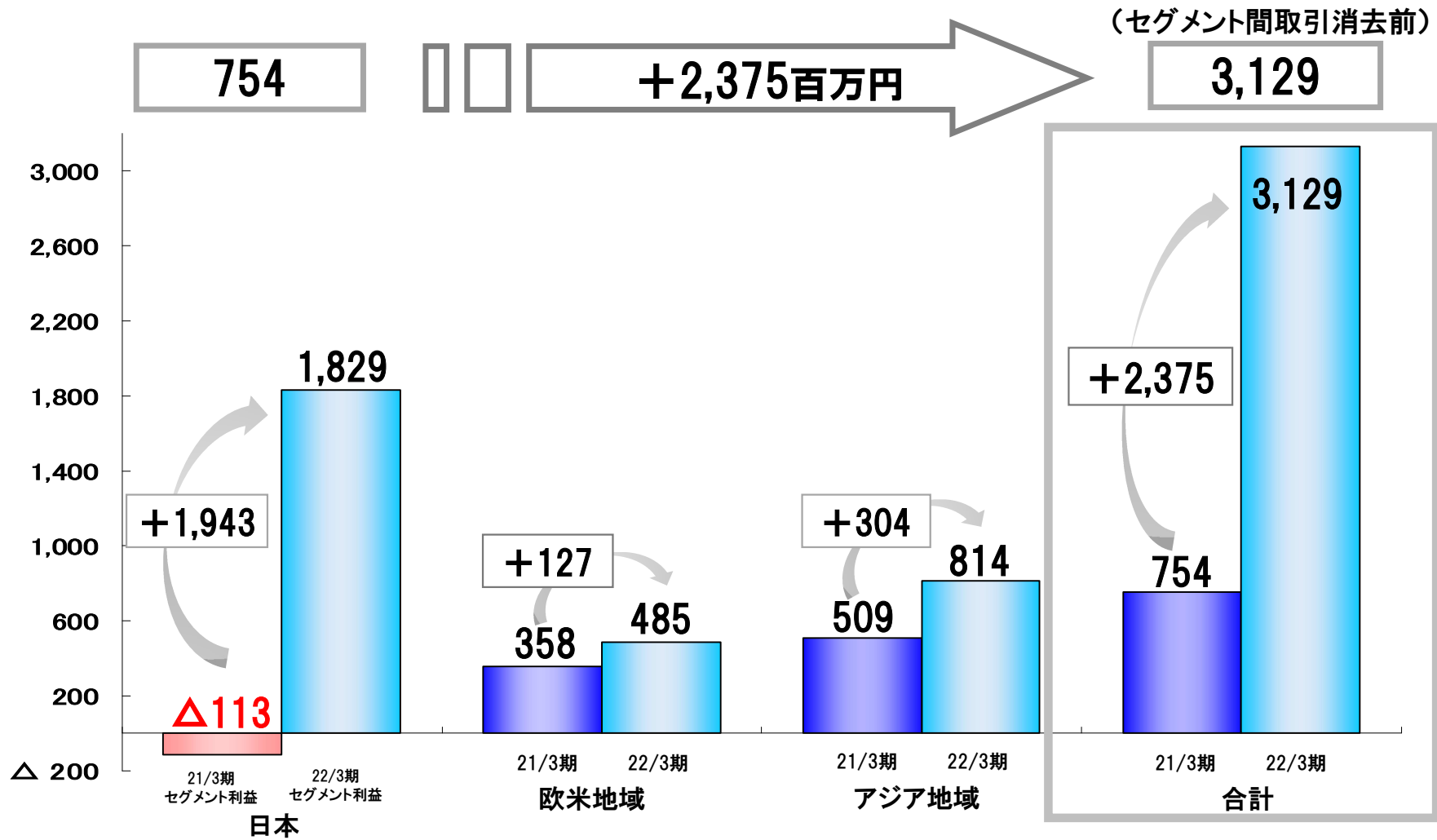
連結売上高(製品別)増減 [2021年3月期⇒2022年3月期]



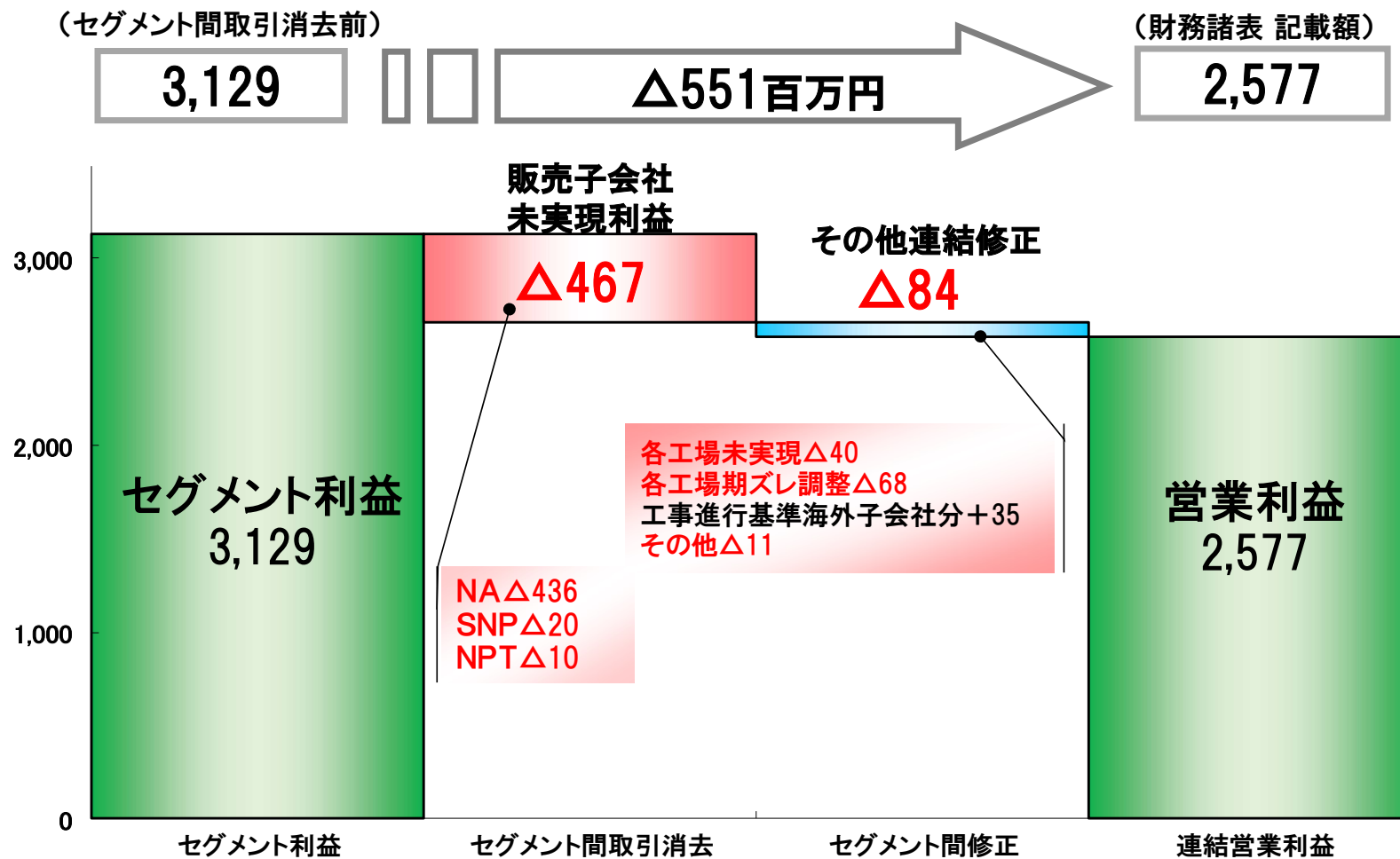
連結営業利益(製品別)増減 [2021年3月期⇒2022年3月期]



連結営業利益(セグメント別)増減 [2021年3月期⇒2022年3月期]



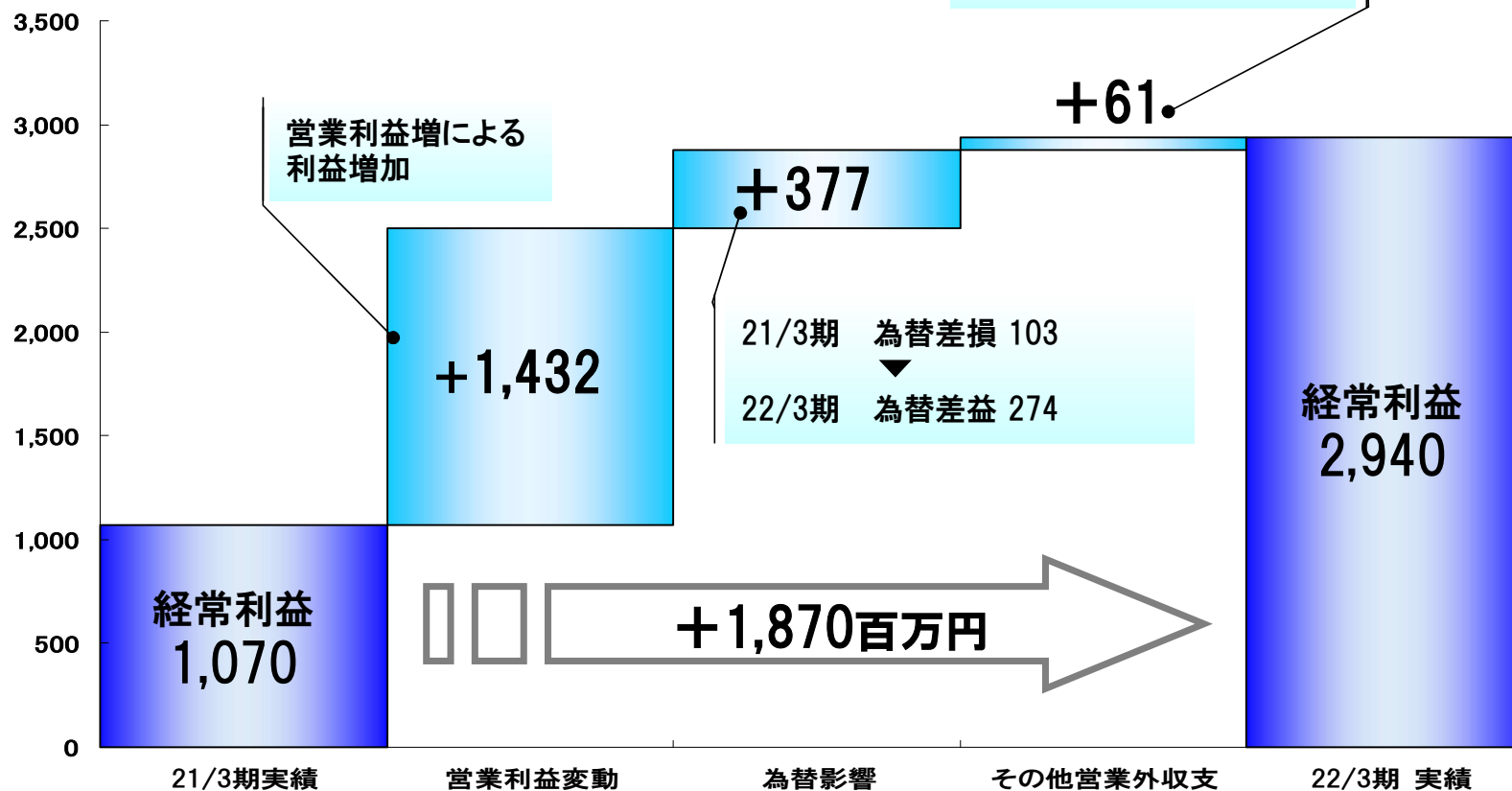
連結営業利益 ～セグメント間取引消去



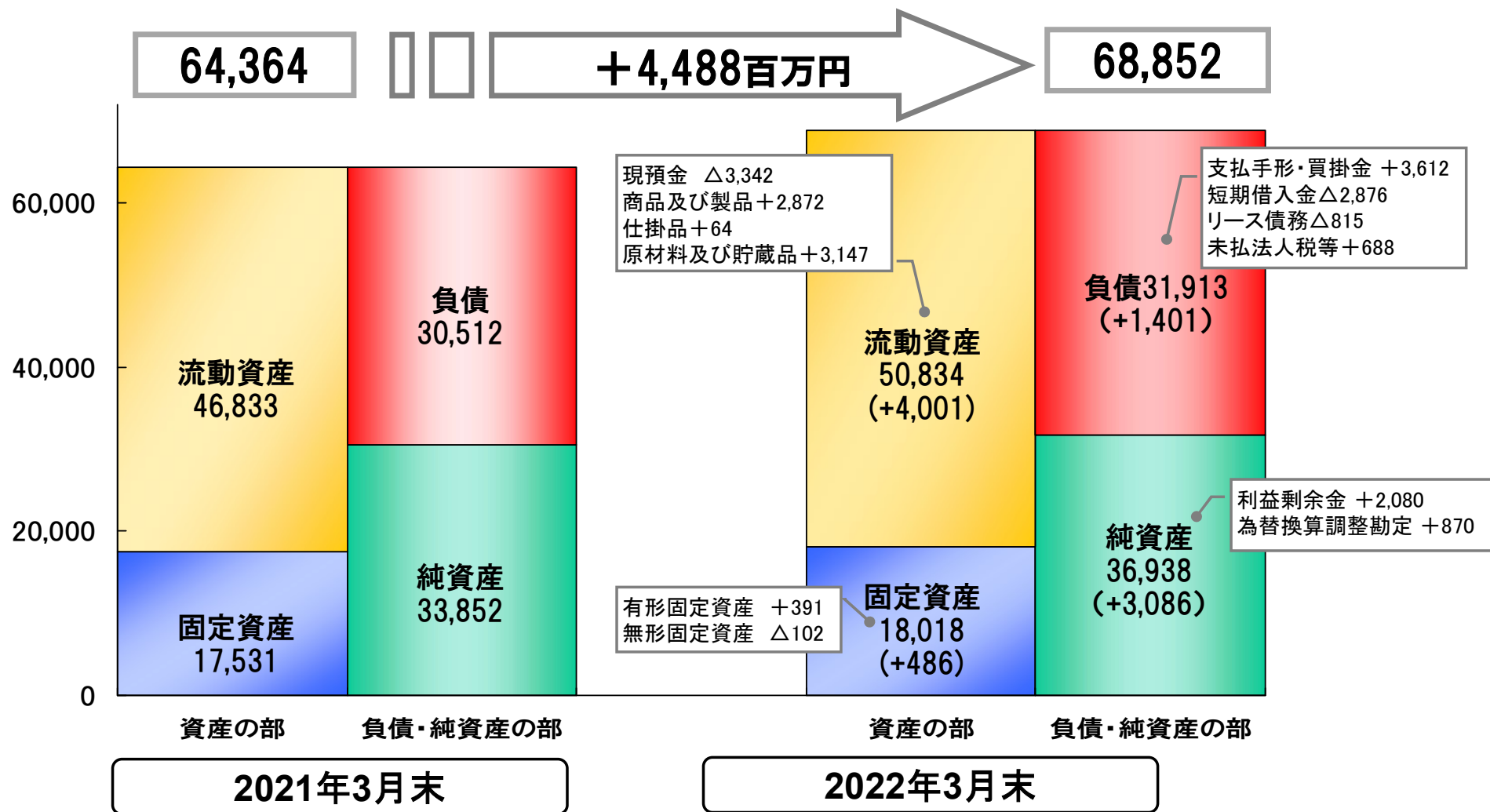
連結経常利益の増減 [2021年3月期⇒2022年3月期]

\$円レート: 期初 ¥ 110.71 ⇒ 3/末 ¥ 122.39
 元円レート: 1/初 ¥ 15.88 ⇒ 12/末 ¥ 18.06

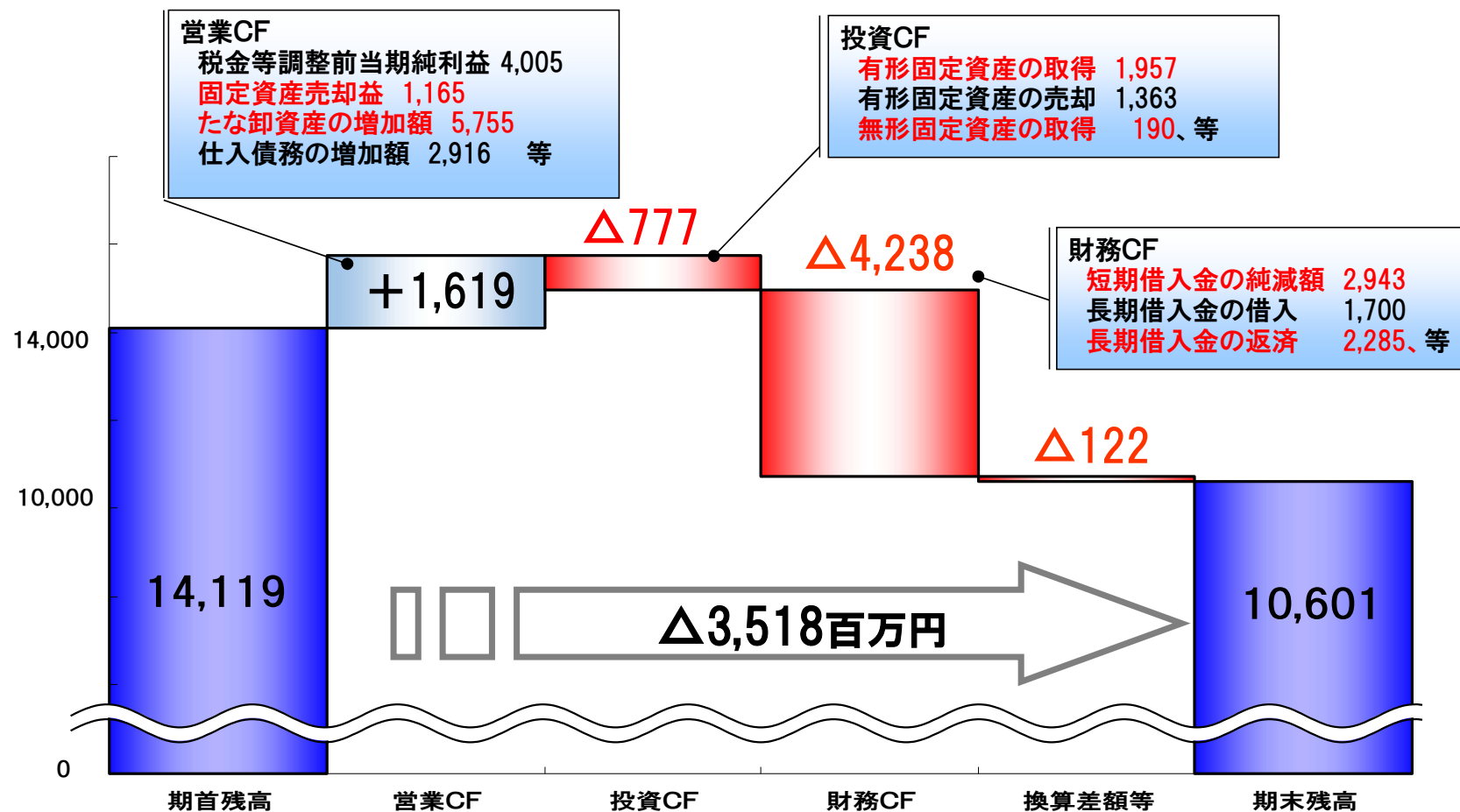
受取配当金△60、
 デリバティブ評価益+25
 その他増減



連結貸借対照表の増減 [2021年3月末⇒2022年3月末]



連結キャッシュフロー ～現金及び現金同等物の増減

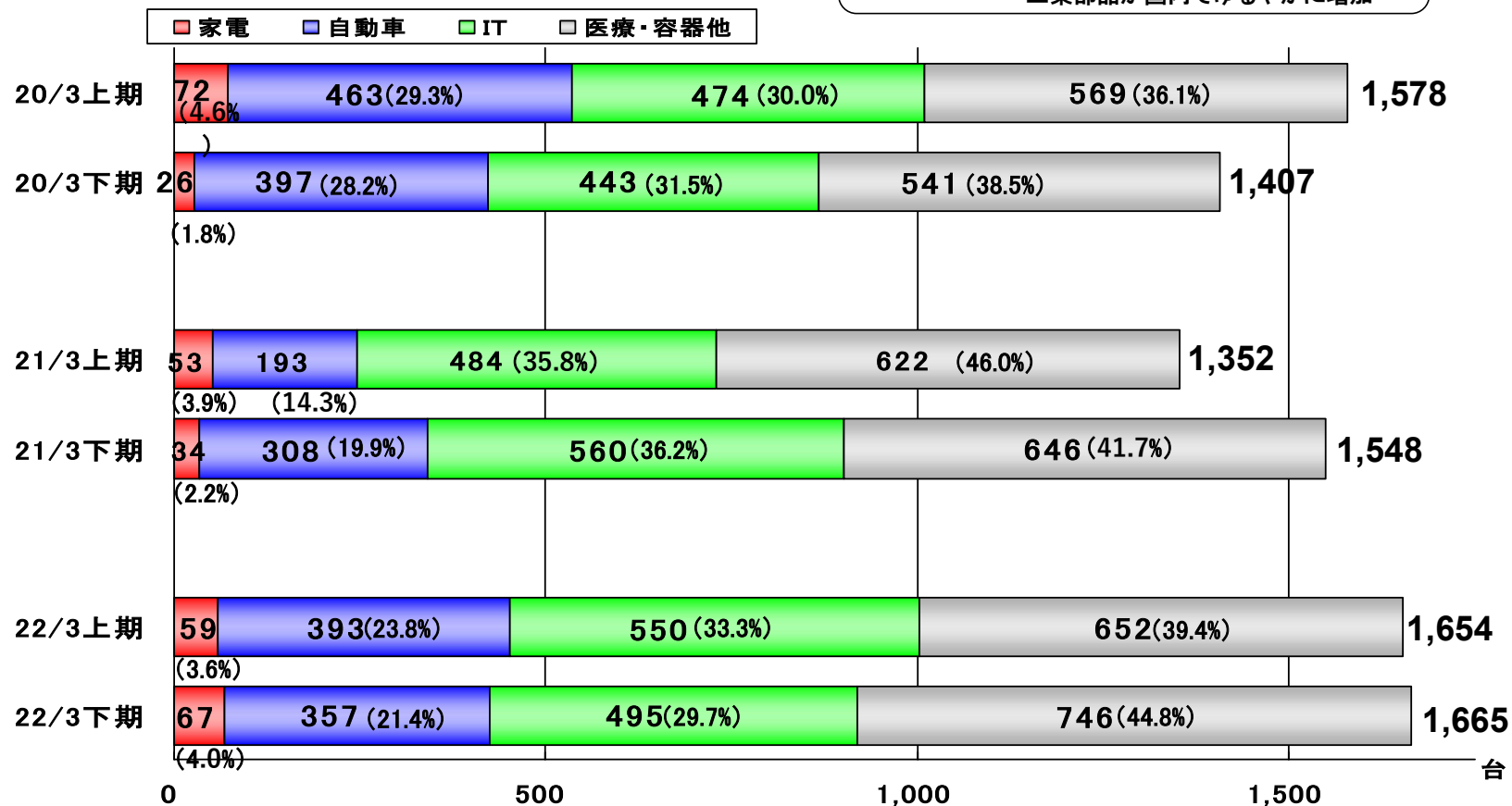


射出成形機の需要先別出荷台数推移 (当社)

自動車関連、IT関連、医療・容器関連の3本柱が、
出荷の大半を占めている。

2022年3月期

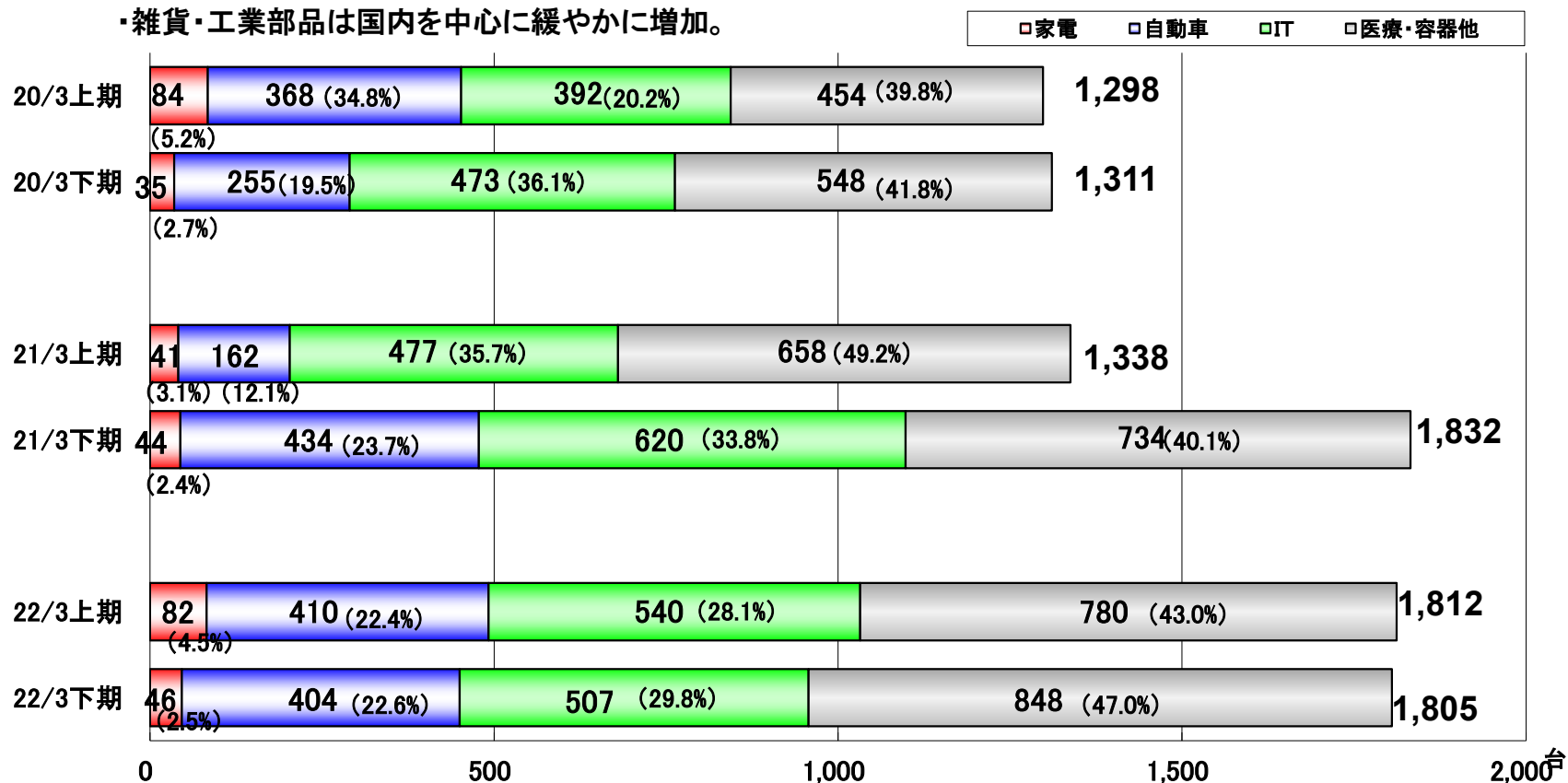
- 自動車…国内、海外共に堅調に推移
- IT…アジア、堅調を維持
- 医療・容器他…医療・容器・雑貨横ばい
工業部品が国内でゆるやかに増加



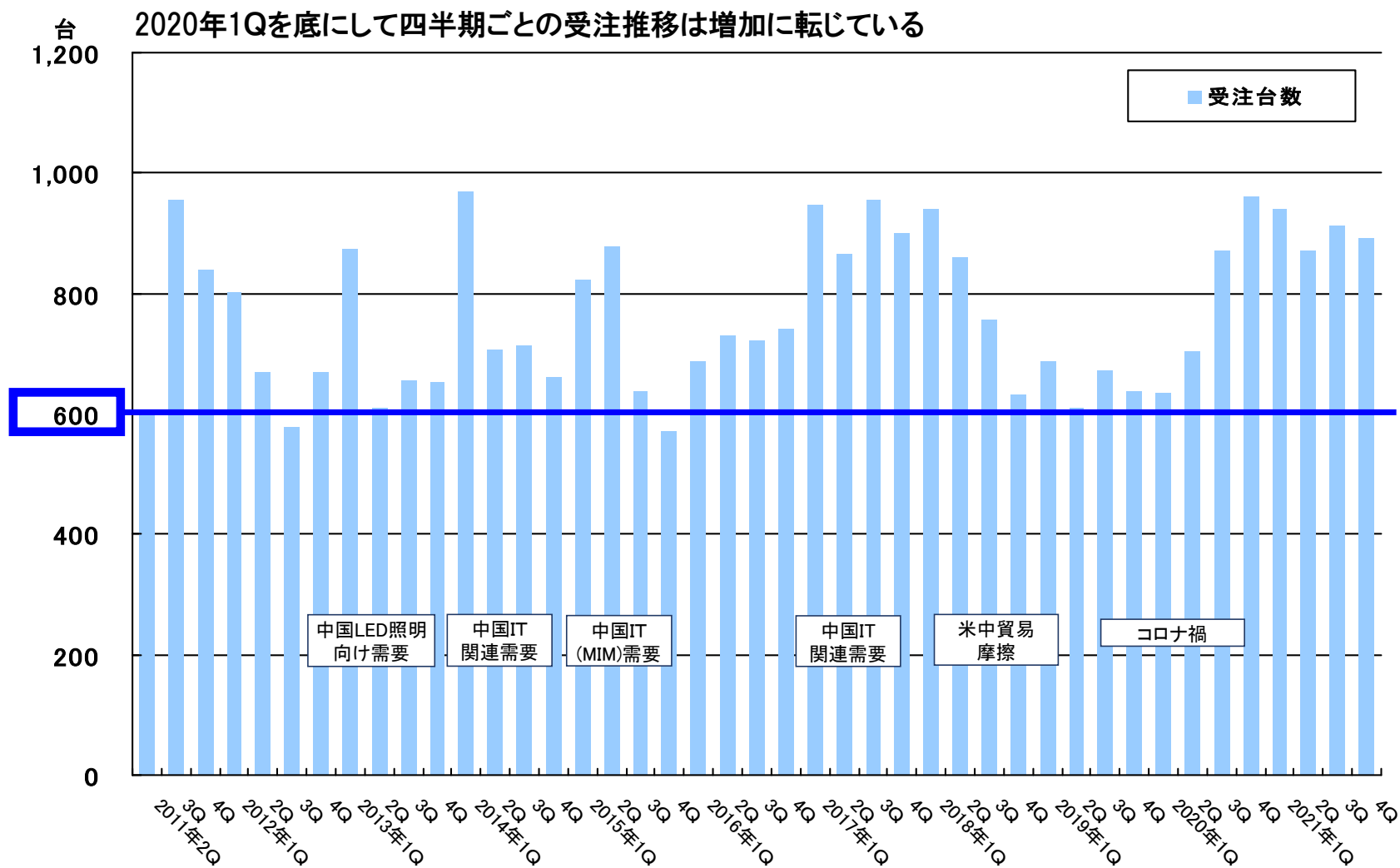
射出成形機の受注推移

射出成形機の需要先別受注台数推移 (当社)

- ・22/3期の受注台数は3,617台。前年同期比14.1%増。
- ・21/3下期からの徐々に回復、特に自動車関連の受注環境が改善し堅調に推移。
- ・IT関連は東アジアを中心に好調を維持。
- ・雑貨・工業部品は国内を中心に緩やかに増加。

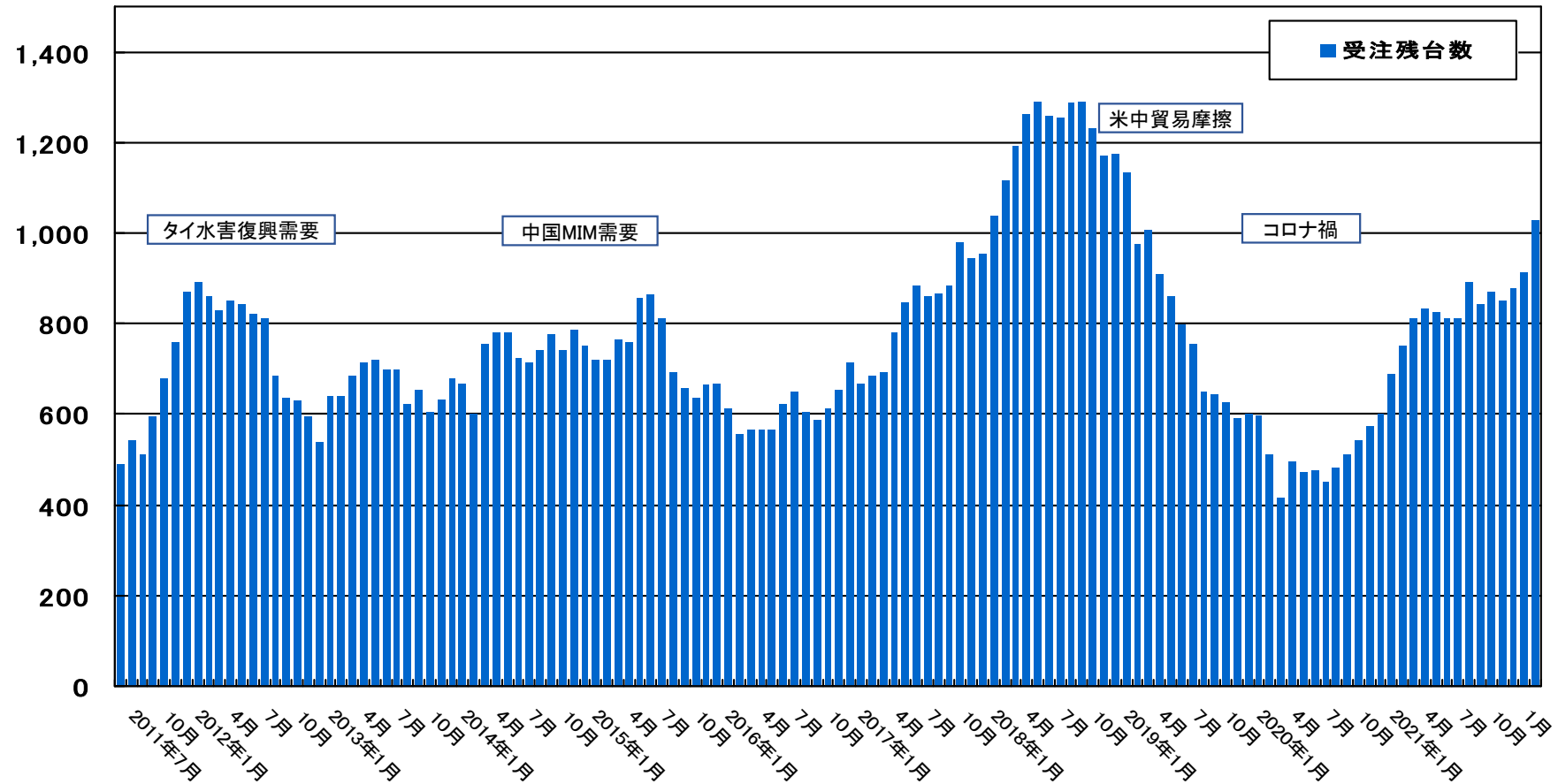


射出成形機の受注台数推移 (当社)



射出成形機の受注残台数推移（当社）

新型コロナの影響により減速したが、2020年8月頃を境に増加に転じている。
国内外で自動車関連需要や東アジアを中心にIT需要が堅調に推移し、受注が積み増している状態。
2021年4月より受注残台数は800台前後を推移。



トピックス

『えるぼし認定』（認定段階2）の認証

女性活躍推進法に基づく行動計画(2019/4/1-2022/3/31)において、
えるぼし認定要件の5項目のうち、4項目をクリアし、
当社では未取得であった『えるぼし認定(認定段階2)』を認証

『えるぼし認定』…女性活躍促進法に基づき、一定基準を満たし、女性の活躍促進に関する取組の実施状況が優良な企業を認定する制度

えるぼし認定の段階は、3段階あり、えるぼしの基準を満たしている項目数に応じて取得できる段階が決まります。今回、当社は下記4項目をクリアし、2段階目を認証。

- ①継続就業…女性労働者(正社員)の平均勤続年数19.1年（平均値13.3年）
- ②労働時間等の働き方…各月の時間外労働時間の平均45h未満
- ③管理職比率…女性管理職の比率 4.2%（平均値2.7%）
- ④多様なキャリアコース…女性の非正規社員→正社員への転換、
30歳以上の女性の正社員の採用



認定書

海外孫会社の子会社化

当社の孫会社である「NISSEI (MALAYSIA) SDN. BHD.」の持分を当社子会社である「NISSEI PLASTIC SINGAPORE PTE LTD」から取得し、子会社化



◎近年のシンガポールおよびマレーシアにおける経済情勢の変化等により、マレーシアに軸足を移しお客様により近い場所で営業、サービス提供の迅速化を図ります

社名: NISSEI (MALAYSIA) SDN. BHD.
所在地: マレーシア クアラルンプール(本社)
資本金: 100万RM(約2,600万円)
事業内容: 射出成形機・金型・周辺機器と関連部品の販売およびアフターサービス業務

マレーシア

シンガポール



◎シンガポール子会社NPSは、新たに当社の海外支店(シンガポール支店)としてサービスを中心とした業務を開始

省エネ法定期に基づく評価制度Sランク認定

省エネ法定期報告に基づく、事業者別評価認定において

当社はSクラス(優良事業者)と評価されました

◎省エネ法定期報告とは

…事業者全体やエネルギー管理指定工場などのエネルギー使用状況についてまとめる報告書、この報告書は毎年度作成し、提出することが法律で義務付けられている

Sクラス

省エネが優良な事業者
(目標達成事業者)

Aクラス

省エネの更なる努力が
期待される事業者
(目標未達成事業者)

Bクラス

省エネが停滞している事業者
(目標達成事業者)

- ✓ 今後も建築物のZEB化、再生可能エネルギーの活用(太陽光発電)、工場照明のLED化など、積極的に取り入れ 使用するエネルギー使用量の削減に努めます

第7工場・第8工場 太陽光発電設置



研究開発センター



その他トピックス

- ✓ 日精ホンママシナリー、NEGRI BOSSI黒字達成
- ✓ NPC100億円売上突破
- ✓ 工事進行基準の導入
- ✓ 半導体不足
- ✓ 部材の高騰
- ✓ コンテナ不足



2023年3月期計画について

経営方針

1. 真のグローバル経営の強化
2. グローバル市場への積極的展開による
営業強化
3. グローバル生産体制の強化
4. グローバルリスク管理体制の強化

2023年3月期 連結損益計画

単位：百万円、比率%

	2022年3月期 実績	2023年3月期 連結計画	
		通期	増減 %
売上高	48,731	51,000	4.7
営業利益	2,577	3,000	16.4
(利益率)	5.3	5.8	—
経常利益	2,940	3,100	5.4
(利益率)	6.0	6.1	—
当期純利益	2,680	1,900	△29.1
(利益率)	5.5	3.7	—

連結設備投資・研究開発計画

2023年3月期 システム関連投資、工場環境整備等の設備投資を計画。

百万円

	2023年3月期 計画 ()は予算申請分	
主な設備等	本社	
	本社ネットワーク更新等	55
	本社テクニカルセンター金型増設等	33
	工場床改修、照明設備更新	31
	工作機械改修、工場設備増設	71
	太倉工場 生産管理システム等	25
	タイ工場 自動倉庫等	4
	(日精メタル 設備増強)	(1,227)
	(日精ホンマ 設備増強)	(380)
	その他、維持投資等	110
設備投資総額	320	
本社出資	中国第2工場(海塩工場)出資	600
減価償却費		1,302
研究開発費		404

2022年/NEX-Vシリーズ販売開始・創業75周年・K2022出展

■ <新機種> 電気式高性能射出成形機 NEX-Vシリーズ販売開始

成形現場を繋ぐ新しい成形機



■IoT対応 次世代コントローラ

- 周辺機器と接続・画面表示
- ユニバーサルデザインを採用した新画面
- 成形現場から生まれた使える新機能搭載



NISSEI Cloud

安全規格ISO20430準拠



新標準スクリュ

■NISSEI 4.0 “N-constellation”

成形機をHubとして、成形現場のデータドリブンな生産を支援する

■創業75周年

NISSEI × **NEGRIBOSSI**

Since 1947

両社ともに創業が1947年。
合流後、初めての節目になります。

■K2022出展

世界最大のプラスチック見本市。
NEGRIBOSSIとの共同ブースにて出展を予定。

2022年10月19日（水）～26日（水）
デュッセルドルフ見本市会場（ドイツ）

前回出展の様子▶



環境経営

■SDGsを原動力とした地方創生を推進へ

地方創生SDGs
官民連携
プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

NISSEIの保有する環境対応技術や、
その他の活動を通じSDGsの取組促進・達成する。



共創を大きなチカラにする。

■環境対応樹脂への最新の取り組み



長野県産間伐材



ウッドチップ



超微細粉体化



混
練



PLA



超微細木粉コンポジットPLA

地域で抱える環境課題

廃棄される木材



NISSEIの環境対応技術

植物由来生分解性樹脂



プラスチックの抱える課題解決

地球に還るプラスチック

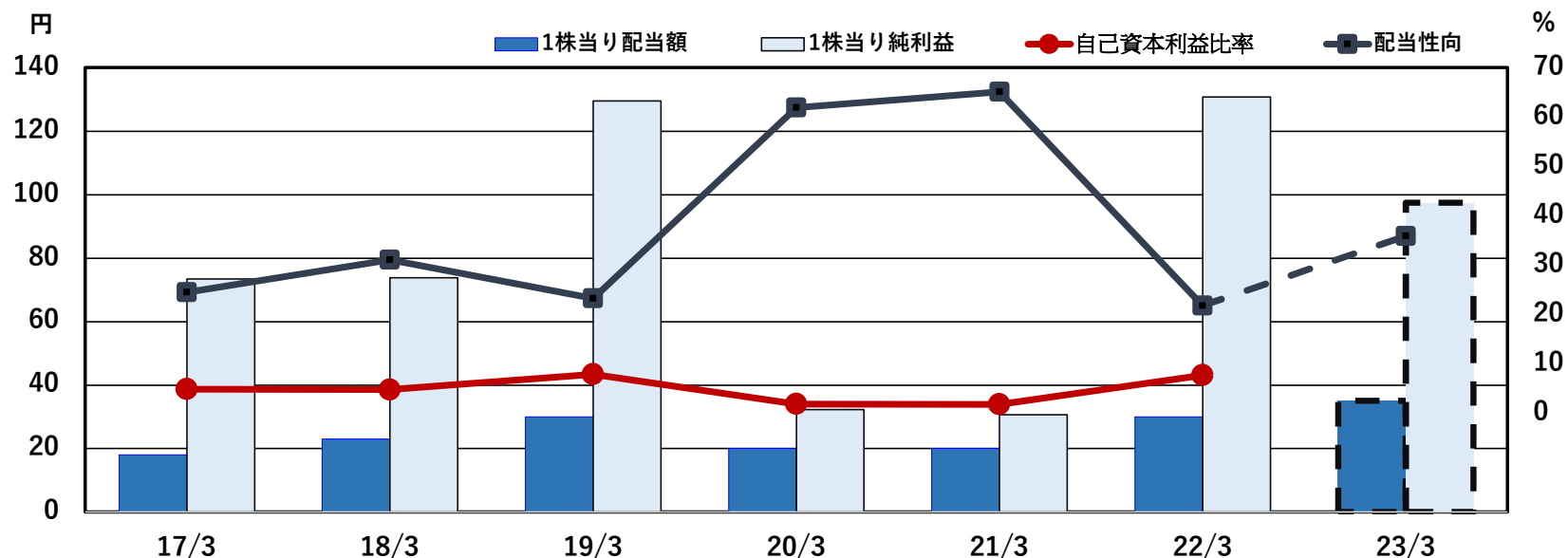
生分解 / 植物由来のプラスチックで、 循環型ビジネスを共創する



配当について

年間配当金／配当性向(連結)の推移

・ 2023年3月期 年間配当は、1株につき35.00円(創業75周年記念配当5.00円を含め中間20.00円・期末15.00円)を予定。



	2018/3月期	2019/3月期	2020/3月期	2021/3月期	2022/3月期	2023/3月期(予定)
1株当り純利益	73.85円	129.56円	32.30円	30.71円	137.43円	97.42(予)
1株当り配当額	23.00円	30.00円	20.00円	20.00円	30.00円	35.00円(予)
中間配当	13.00円	10.00円	15.00円	5.00円	15.00円	20.00円(予)
期末配当	10.00円	20.00円	5.00円	15.00円	15.00円(予)	15.00円(予)
配当性向	31.1%	23.2%	61.9%	65.1%	21.8%	35.9%(予)
自己資本利益率	4.8%	7.9%	1.9%	1.8%	7.7%	—



第四次中期経営計画【2022年度～2024年度】について

日精樹脂工業株式会社
2022年5月13日

射出成形機業界の動向

- ✓ ウィズコロナを踏まえた設備投資需要
- ✓ 半導体を中心とした部材調達難
- ✓ 部品加工先の逼迫
- ✓ 競合メーカーの戦略の相似化(競争激化)、価格競争の激化
- ✓ 新興国メーカーの台頭

社会・経済構造の変化、社会の要請

- ✓ 持続可能な社会の実現への推進・強化
- ✓ プラスチックに係る資源循環の促進
- ✓ ESG経営を基盤とした企業の長期的成長
- ✓ TCFDへの対応
- ✓ ダイバーシティの推進、女性活躍推進
- ✓ 人的資本経営

業種別動向

- ✓ 自動車産業の変革⇒EV化、軽量化の推進
- ✓ 環境素材需要への対応、エコマテリアル
- ✓ 電子部品の車載シフト
- ✓ デジタルインフラの整備・普及
- ✓ IoT化、ロボット化の進展、DX化の進展
- ✓ 医療、容器業界の安定推移

世界経済のリスク

- ✓ 為替相場の急激な変動
- ✓ 世界情勢の複雑化・不安定化、地政学リスク
- ✓ 更なる感染症拡大による経済活動の停滞
- ✓ 半導体不足、物流網の混乱とコストアップ
- ✓ 人件費の高騰などインフレリスク

【経営ミッション】

私たちの経営ミッションはお客様の価値を創造することです。そしてお客様に満足していただき、射出成形技術を通して社会に貢献します。

【経営理念】

世界の日精
プラスチックを通して人間社会を豊かにする

【経営目標】

1. グローバル経営体制の強化

- 連結経営機能を更に強化し、グローバル経営を実践する。
- キャッシュフロー経営を重視し、収益力を更に強化する。
- パートナー企業とのサプライチェーンを強化する。

2. お客様満足度の充実

- グローバルネットワークにより、お客様の満足度充実を図り、企業価値を高める。

3. 環境経営の強化

- グローバル環境経営への対応を図り、省資源・省エネルギー等に配慮した取組みを強化する。

4. グローバル人材の育成と活用

- グローバル人材の育成と活用を図る。
- 社員の働きがいを充実させ、グローバル企業としての価値を高める。

当社が目指す3年後の姿

本3ヵ年(2023年3月期～2025年3月期)は、
グローバル環境経営を更に進化させ、
「フューチャーデザイン2026」の
達成に向けた総仕上げを行う。

1. 真のグローバル経営の強化

- 世界規模で進展する市場変化のなかで、グローバル環境経営を強化し、高収益企業としてグローバルな展開を図り、グループ力を発揮する

3. グローバル生産体制の強化

- 5極生産体制により生産能力を増強すると共に、生産技術力と品質保証体制を強化する
- グローバル調達体制の強化と、内製化率向上により更なるコストダウンを図る

経営方針

2. グローバル市場への積極的展開による営業強化

- 営業力の強化と新たなビジネスモデルの創出により売上増大を図る
- お客様の課題解決型企業として、お客様にご満足頂ける提案型営業を行うとともに、ボーダレス化、IoT化に呼応して、グローバル市場への積極的な展開を図る
- 持続可能な開発目標(SDGs)、成形の理(ことわり)を具現化する製品を計画的に投入する

4. グローバルリスク管理体制の強化

- リーガルリスクに対応した製・販・財戦略とグローバルマネジメント体制を強化する
- コーポレートガバナンス、BCP等に対応したグローバルマネジメント体制を強化する
- グローバルに対応できる人材育成を図る

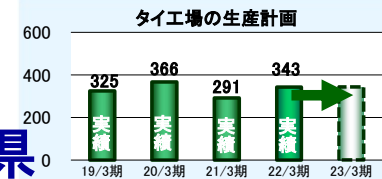
世界5極生産体制の強化



日本



- 外注運営見直し、内製化率引き上げ、中・大型、堅型、特殊機生産体制の強化
- 新規工作機械導入による内製化促進
- 生産技術・品質保証部門の人材力を高め、内外生産の品質向上と指導強化
- 日精メタルワークスの更なる事業拡大
- 日精ホンマシナリーとのコラボによる内製拡大・原価低減

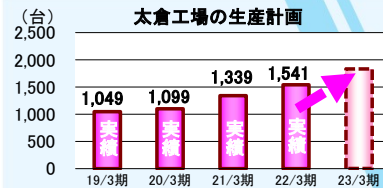


イタリア・ミラノ



NEGRI BOSSI S.P.A.

- NB社黒字定着化
- NB社による太倉NEX機販売
- NB社生産拠点、サプライヤー、販売・サービス・代理店網の活用



日精塑料機械(太倉)有限公司

グローバルなプロダクト戦略

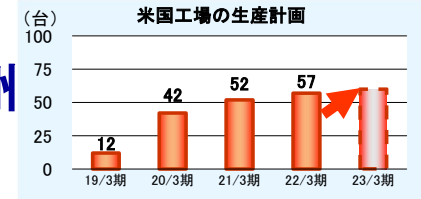
- ◎ グローバルサプライチェーンの強化により、品質・コスト・納期対応の向上、為替リスク低減
- ◎ グローバルな品質保証体制の強化
...世界同一品質の実現
- ◎ 内外拠点の一元的在庫管理
- ◎ グローバル調達体制の強化...各拠点の最適調達

タイ・ラヨン県



Nissei Plastic Machinery (Thailand) Co., Ltd.

- 生産機種構成の見直し
- 現地調達率の向上...原産地証明取得推進、インド市場へ拡販
- 内製拡大による付加価値の向上
...パネル内製化、加工設備増強検討
- ISO認証維持・管理



中国・太倉市

- 生産能力の増強(増築)
- 本社・タイ工場・米国工場向け機構ユニットおよび部品供給の拡充
- 現地調達率の向上...100%海外部品化、国内生産機への展開
- ISO認証維持・管理

米国・テキサス州



Nissei Plastic Machinery America Inc.

- 生産能力向上と改造体制構築
- 倉庫スペースの活用
- 現調・内製化推進

中期計画の歩み



～2015年度

第1次中期 経営計画

2006.10
上越工場を取得、
操業を開始



2009.7
初の海外生産拠点
中国太倉工場を設立



2012.5
タイ工場を設立



2015.1
中国太倉工場を
拡張移転



2016～18年度

第2次中期 経営計画

2017.8
累計販売13万台達成

2017.10
ホンマ・マシナリーを
事業承継



2017.10 創業70周年

2018.3
米国テキサス工場が
稼動開始



2018.12
東欧スロバキアに
販売現法設立

2018.12
インド・チェンナイに
支店を開設

2019.1
QC棟が完成

2019.3
九州営業所を移転

2019年度

2019.9
中国太倉工場を
増築



2019.10 K展出席



➢SDGs実現への取組み
欧州、環境対応技術
(PLA等)拡販

2020.1
NEGRI BOSSI S.P.A.
株式等取得



2020年度

第3次中期経営計画

IPF JAPAN 2020 Virtual



2020.10～12
プライベートフェア開催



2020.11 低床型
TWX220R,300Rライ
ンナップ



2020.12
累計販売14万台達成

2021.1
FWX2050受注開始



2021年度

2021.
NEGRI BOSSI S.P.A.
土地・建物買取り

2021.7
米国販社・米国工場
の統合
⇒新 NISSEI AMERICA



➢生産体制強化
米国：製販力強化、
ネグリ・ボッシ社とのコラボ
日精ホンマ、大型機生産

2021.10 西日本PV展
2021.12 本社PV展



2022.2
信州ブランドアワード
大賞受賞

2022.3
NISSEI (MALAYSIA)
子会社化

2022～2024年度

第4次中期 経営計画

2022.4 東証
プライム上場



➢ 2022.10 K2022
ネグリ・ボッシ社とのコラボ

2023.
中国海塩工場完成
⇒生産、加工能力強化

2023.
米国工場
⇒大型機生産能力増強



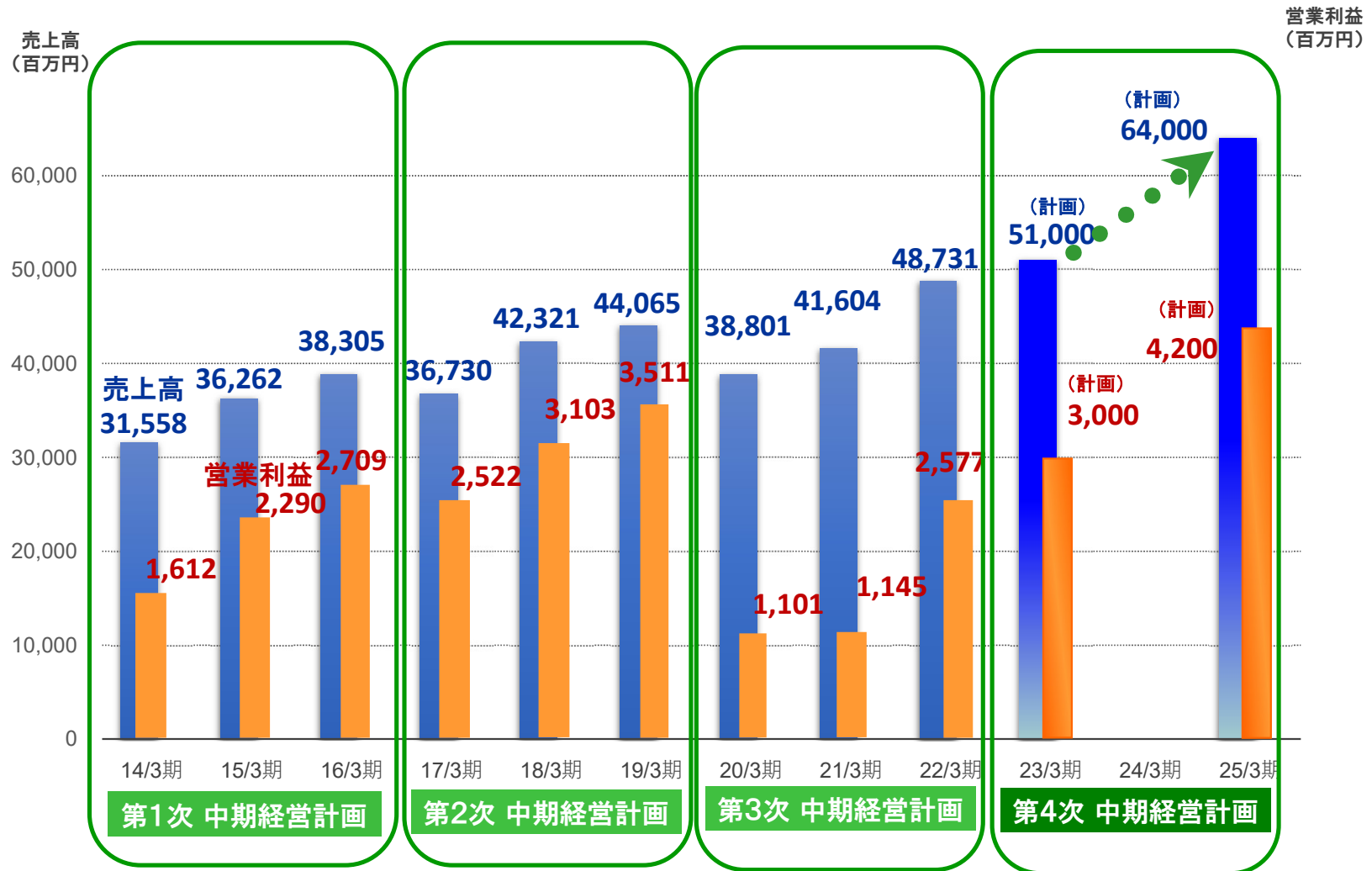
➢ 2023.11 IPF2023



➢ 2024.5 NPE2024

連結売上高・営業利益推移 >>> 数値目標

左軸：売上高、右軸：営業利益





日精樹脂工業株式会社

本資料に掲載されている当社の業績予想、見通し、重点戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。
